

■開催趣旨

防災・減災のために、家庭で・地域で・子ども会で何ができるか
何を備えるか、次代を担う子どもたちに伝えるためにみんなで考える

■期日

2014年6月22日（日）13：30～16：30（3時間）

■会場

明石市魚住市民センター 3階 会議室

■参加者

24名（子ども会育成者24名）

■概要

阪神・淡路大震災当時のまちの様子をスライドショーで鑑賞し、
被災体験を語り部（講師）に聞いた後、防災・減災に向けて、
家庭や地域、子ども会でできることを全員参加型の意見交換で考えた

■実施スケジュール

時間	内容
13：30	あいさつ つなぐ手プロジェクト代表団体職員 浅見真一
13：35	オープニングスライド 「阪神淡路大震災って…」
13：45	語り部によるお話し 「1. 17 あのとき私は、あれから地域は、そして…」
14：10	全員参加型即答フリップ方式ディスカッション 「考えてみよう！子ども会でできる災害への備え」
16：30	終了・事務連絡 明石市子ども会連絡協議会会長

■語り部

明石市連合子ども会育成連絡協議会
会長 松原由美子 氏

■ワークショップ

ファシリテーター 中川勇二 氏 浅見真一
スタッフ・記録 青少年活動リーダー 5名

■会場の様子



ファシリテーター



ディスカッション

■参加者の感想

- ・子どもたちに伝えていこう！
- ・違った意見を聞いて参考になった
- ・最初は気乗りしなかったけど、来てよかった！
- ・やっぱり忘れてはいけない
- ・防災センターに行ってみようかな
- ・20年前を思い出した
- ・有意義でした。ありがとうございます。
- ・日ごろからの意識が大事
- ・災害の備えについて考え直さないとあかん
- ・過去から未来へつなぐとは、こういうことなんだ！